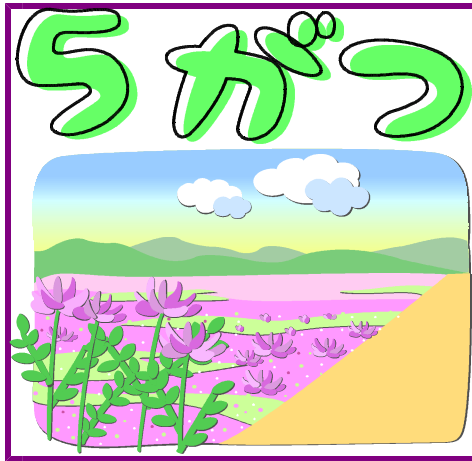


めぐみイエス・キリスト教会

2023年5月28日(日) 第四主日ペンテコステ礼拝
午前10時より
週報「通算第659号」



2023年標題聖句

第 I ヨハネの手紙第5章4節～5節

《神から生まれた者はみな、世に勝つからです。私たちの信仰、これこそ、世に打ち勝った勝利です。世に勝つ者とはだれでしょう。イエスを神の御子と信じる者ではありませんか。》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時～11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌420「雨を降り注ぎ」 p. 676

【交読文】 No.30 詩篇第96篇 p. 903

【賛美Ⅱ】 新聖歌416「聖霊来たれり」 p. 668

【使徒信条】

【主の祈り】

【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナル曲No.1「聖霊の風」

【聖書朗読】 使徒の働き2章1節～4節(新約p. 233)

【礼拝説教】 《助け主・聖霊という神とは?》

【聖餐式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌166「威光・尊厳・栄誉」 p. 236

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

●ポイント1.「助け主」とは？

※ヨハネの福音書14章16節・26節および16章7節～8節(新約p.214)

14:16「そして私が父にお願いすると、父はもう一人の助け主をお与えくださり、その助け主がいつまでも、あなたがたとともにいるようにしてくださいませ。」

14:26「しかし、助け主、すなわち、父が私の名によってお遣わしになる聖霊は、あなたがたにすべてのことを教え、私があなたがたに話したすべてのことを思い起こさせてくださいませ。」

16:7「しかし、私は真実を言います。私が去って行くことは、あなたがたの益になるのです。去って行かなければ、あなたがたのところに助け主はおいでになりません。でも、行けば、私はあなたがたのところに

に助け主を遣わします。

16:8 その方が来ると、罪について、義について、さばきについて、世の誤りを明らかになさいます。」

●ポイント2.「真理の御霊」とは？

※ヨハネの福音書14章17節および16章13節 (新約p.214)

14:17「この方は真理の御霊です。世はこの方を見ることも知ることもないので、受け入れることができません。あなたがたは、この方を知っています。この方はあなたがたとともにおられ、また、あなたがたのうちにおられるようになるのです。」

16:13「しかし、その方、すなわち真理の御霊が来ると、あなたがたをすべての真理に導いてくださいます。御霊は自分から語るのではなく、聞いたことをすべて語り、これから起こることをあなたがたに伝えてくださいます。」

●ポイント3.「主イエスの昇天前の約束」とは？

※使徒の働き1章4節～5節および8節「私の証人に」 (新約p.232)

1:4 使徒たちと一緒にいるとき、イエスは彼らにこう命じられた。「エルサレムを離れないで、私から聞いた父の約束を待ちなさい。

1:5 ヨハネは水でバプテスマを授けましたが、あなたがたは間もなく、聖霊によるバプテスマを授けられるからです。」

1:8「しかし、聖霊があなたがたの上に臨むとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、さらに地の果てまで、私の証人となります。」

※テトスの手紙3章6節「使徒パウロの確信」 (新約p.433)

3:6 神はこの聖霊を、私たちの救い主イエス・キリストによって、私たちに豊かに注いでくださったのです。

◎先週の礼拝メッセージ【パウロの三回目の弁明】

《新ローマ総督フェストゥスは、ユダヤの王アグリッパ2世に、パウロの件について相談しました。それゆえ、次の日、謁見室において、パウロ本人の弁明を聞いてもらうことになったのです。

実は、ダマスコの改心の時に、パウロの目を開ける為に遣わされたアナニアに、主イエスが与えられた預言がありました。

「行きなさい。あの人は私の名を、異邦人、王たち、イスラエルの子らの前に運ぶ、私の選びの器です。」と。

まず第一回目の成就是、「イスラエルの子ら」に対してでした。それは、エルサレムの大祭司や祭司たち、パリサイ人や律法学者たちを前にして、パウロはヘブル語で語ったのです。

そして、第二回目の成就是「異邦人の長」に対してです。パウロ暗殺の計画が持ち上がった為、エルサレムからカイサリアに護送され、総督フェリクスの前に立った時に成就します。

「閣下が長年、この民の裁判をつかさどってこられたことを存じておりますので、喜んで私自身のことを弁明いたします。」と。

そして、今回の三回目の弁明こそ、「王たち」に対して成就することになります。まず、ユダヤ人の王アグリッパ2世に対して成就し、次に、ローマに護送され、皇帝ネロの前において弁明し、成就します。

さて、パウロはカイザルに告訴していますから、今回は裁判の席ではありません。よって、パウロは伝道メッセージを語ることになります。

パウロは全身全霊を込めて、アグリッパ2世とベルニケに、そしてローマ総督フェストゥス、および出席していたローマ人たちに、メッセージを語りました。そして、間違いなく、パウロのメッセージを通して、聖霊は彼らに働かれたのです。主イエスは、私たちの口を用いて、ご自身の栄光を現わそうとしておられるからです。それだからこそ、私たちは、語る言葉に、常に細心の注意を払う必要があるのです。》

◎お知らせ

※次回礼拝は、6月4日(日)午前10時からです。